

【市長】

本日の案件は、3件でございます。

初めに、案件1「北海道日本ハムファイターズ2軍施設の誘致」について、ご説明いたします。

先日、北海道日本ハムファイターズが、2軍施設を北海道内に移転すると公表しました。この件につきましては、大変喜ばしいことであり、本市としても歓迎しているところでございます。

本市では、昨年の報道以降、球団と複数回にわたり情報交換を実施してきたところでありますが、2軍施設が本市に移転され、プロスポーツの拠点が設置されることは、市民の皆様がスポーツを身近に親しんでいただく機会が創出されるほか、地域経済の活性化などの幅広い効果も期待できるものと考えております。

また、多くの市民や近隣自治体からも施設誘致に関する期待の声が寄せられているところでございます。

本市といたしましては、今後、誘致に関する球団の考えを伺うとともに、官民での連携や胆振地域全体での誘致の機運を高める仕組みを検討し、「北海道日本ハムファイターズ2軍施設の誘致にチャレンジ」してまいります。

次に、案件2「苫小牧市公式 Instagram アカウント開設」について、ご説明いたします。

苫小牧市公式 Instagram アカウントを、今月9日に開設・公開いたしました。

このアカウントでは、市民の皆さまに身近で親しみやすい Instagram を通じて、まちの魅力を写真や動画でお伝えしてまいります。

詳細につきましては、担当部長から説明いたします。

【総合政策部長】

「苫小牧市公式 Instagram アカウント開設」について、ご説明いたします。
記者会見資料 1 をご覧ください。

アカウント開設の目的は 2 つございます。

1 つ目は、若年層への情報発信力の強化です。

若年層は従来の広報紙やホームページよりも、SNS を通じた情報収集を日常的に行っており、Instagram は特に視覚的に訴求力が高く、関心を引きやすい媒体です。

既存の広報媒体の補完媒体として活用することで、主なターゲットとなる 20 代から 40 代の市民との接点を増やしてまいりたいと考えております。

2 つ目は本市のイメージアップです。

市内の風景や地域イベント、市の取組など、まちの魅力を写真や動画で発信することで、本市のイメージアップにつなげてまいりたいと考えております。

アカウントは、今月 9 日に開設しており、今後週 1 ～ 2 回程度、投稿してまいります。

Instagram を利用している皆さんには、苫小牧に関する投稿をする際は、

「# (ハッシュタグ) トマフォト」をつけた投稿をしていただきたいと思います。

皆さんがハッシュタグをつけた投稿の中から、職員が選考した投稿を市公式アカウントで紹介 (リポスト) することによって、ユーザー参加型の広報としても機能させていきたいと考えております。

説明につきましては、以上でございます。

【市長】

次に、一般会計、3 つの特別会計及び 4 つの企業会計、合わせて 8 会計の「令和 6 年度各会計決算の概要」がまとまりましたので、発表いたします。

詳細につきましては、のちほど、担当部長から説明しますので、私からは総括的なところと、財政健全化指標についてお話をさせて

いただきます。

はじめに、一般会計の決算では、歳入歳出の差引に繰越財源を確保した実質収支が、約13億7千万円となり、前年度と同規模になりました。

次に、特別・企業会計の決算では、企業会計において単年度資金収支は赤字となったものの、累積資金収支はプラスを維持しております。

次に、財政健全化指標の数値について、速報値ですが、

「経常収支比率」が、89.7%、

「実質公債費比率」が、8.5%、

「将来負担比率」が、79.2%、となり、いずれも前年度より悪化したものの、財政運営持続化計画で定める目標をクリアし、健全性は保たれている結果となっております。

駅前再整備をはじめ、財政負担を伴う課題がありますが、将来にわたり持続可能で安定した財政運営に取り組んでまいりたいと考えております。

なお、正式な比率は、監査委員の審査を経て、9月定例会に報告をさせていただき予定でございますので、よろしく願いいたします。

詳細は担当部長から説明させていただきます。

【財政部長説明】

「令和6年度各会計決算の概要」について説明いたします。

資料の2ページは、一般会計と特別会計の決算概要です。

一般会計の決算は、歳入歳出差引に繰越財源を確保した実質収支で、令和5年度決算に比べて、1億4,449万9千円多い、13億6,621万4千円となりました。

この実質収支約13億7,000万円の要因ですが、収入で、市税、地方交付税などが予算額より上振れたこと、支出で、扶助費が予算額を下回ったことなどによるものでございます。

また、使途についてですが、令和7年度の当初予算の計上分の1億円は、すでに確定し、加えて、一部はすでに6月補正予算の財源として活用しておりますが、今後の補正予算の財源や、翌年度当初予算の財源対策などへ活用したいと考えてございます。

次に、一般会計の歳出規模は、前年度に比べ、約18億円の増となっております。

その主なものは、扶助費が増加したほか、公共施設建設に関連する費用が増加したことによるものでございます。

次に4ページの市税の状況をお願いいたします。

市税収入の総額は 288億4,043万8千円で、昨年度に比べ3,113万9千円、【0.1%】の減となっております。

その主なものは、

個人市民税 6.5% 5億4,832万円の減

法人市民税 16.0% 3億3,618万3千円の増

固定資産税の償却資産で 4.3% 2億249万5千円の増などがございます。

なお、個人市民税でございますが、定額減税分の影響分を除くと、2.2% 1億8,862万1千円の増となります。

次に、収納率でございますが、現年度分について、99.4%、全体では96.8%で、いずれも前年同様となりました。

道内主要10都市では、現年度分で第3位となっております。

2ページに戻っていただき、特別会計の実質収支をご説明いたします。

国民健康保険事業会計は、 581万6千円、

介護保険事業会計は、 1,628万8千円、

後期高齢者医療会計は、 9,424万3千円 となっております。

次に、3ページ、企業会計でございますが、

水道事業会計は、

単年度資金収支、 1億5,973万8千円のマイナス、

累積資金収支額、 16億1,701万3千円、

下水道事業会計は、

単年度資金収支、 1億3, 517万1千円のマイナス、

累積資金収支額、 14億 358万8千円、

市立病院事業会計は、

単年度資金収支、 8億7, 356万4千円のマイナス、

累積資金収支額、 12億2, 151万7千円、

公設地方卸売市場事業会計は、

単年度資金収支、 685万6千円のマイナス、

累積資金収支額、 3億5, 905万2千円となっております。

最後に、6ページをお願いします。一般会計の市債残高及び基金等残高の推移でございます。

上段は、一般会計の市債残高の推移でございますが、平成8年度に547億円だった市債の残高は、平成11年度の751億円をピークに減少しますが、平成24年度から増加し、今年度の現時点での見込みでは、臨財債を含め876億円となっております。

下段は、基金残高等の推移でございますが、

折れ線グラフは、基金全体の推移を示しており、平成8年度に119億円あったものが、その後の財政状況より減り続け、平成20年度には22億円と最も低くなりました。

令和6年度末の残高は前年度から8億円減の175億円となり、令和7年度当初予算の財源対策などの取り崩しにより、現時点で151億円の残高見込みとなっております。

下の棒グラフは、財政調整基金や減債基金などの主な基金等の推移で、いわゆる市の貯金の推移を示しております。

以上で、各会計の決算概要の説明とさせていただきます。

【市長】

説明は以上でございます。ご質問があれば、お受けいたします。